

中央防災会議

「防災基本計画専門調査会」(第九回)議事概要について(速報版)

中央防災会議事務局(内閣府(防災担当))

1 専門調査会の概要

日時 : 平成14年6月28日(金) 13:00~14:00  
場所 : 虎ノ門パストラル(新館5F ミモザ)  
出席者 : 伊藤座長、小幡委員、香西委員、志方委員、重川委員、藤吉委員  
村井防災担当大臣、奥山政務官、高橋政策統括官(防災担当)他

2 議事概要

事務局から資料に基づき説明があった。  
各委員から、以下のような意見等が出された。

被災者の生活再建を行うことは重要であるが、支援する前提として自助努力をしていることが必要。

防災上の危険区域の明示及びその区域からの住居移転の促進という考え方に賛成。

○被災者支援のグランドデザインを作ることは被災者の再建の予測可能性を明らかにすることになる。

○真に支援を必要としている人をいかにして認定するかということは難しいが、公平性・透明性を確保することが重要。

○国は個人の財産を保護するのではなく、公共の財産を保護するという立場を明確にする必要がある。

地方公共団体の防災体制の評価を進めることは重要。

○災害対策基本法は最もしっかりした基本法である。防災対策を推進することは、国家の基本を強くすることにつながる。

国全体の利益を考えて、私権の過剰な保護は改めていくべき。

提言を出す以上はどう実行させていくかということが最大の課題であり、まずは1つでも2つでも実行していくことが重要である。

本日の最終会合における委員の意見に基づく修正については伊藤座長に一任となり、7月2日（火）に『防災体制の強化に関する提言』を座長から発表することになった。

〔この件に関する問い合わせ先〕  
内閣府政策統括官（防災担当）  
防災総括担当参事官付 岡本、磯貝  
TEL 03 - 3501 - 5408